



穴をあけて綴じてください



大正5年(1916)昭和天皇の立太子礼の御祝いに献上した六郷の大トンビ凧(翼長5.2m)が、上田格一氏ら5名によって修復され、沼津御用邸記念公園の空高く舞い上がった。10月1日。

## 詣 初

### 崇敬会会員の昇殿参拝

平成7年1月3日

午前10時30分(第1回)  
午前11時30分(第2回)

1月3日の午前10時30分と11時30分の2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な御札が授与されます。

崇敬会では、新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお境内には、甘酒進上の席も用意いたします。多数ご参拝ください。

### 二つの慶祝行事について

社務所の改築工事は順調にすすみ、去る十二月十七日午前十時三十分より、神社役員および崇敬会・氏子青年会の代表が参列して、めでたく上棟祭が執り行われました。竣工は明年夏の予定です。

また、鈴木宮司は九月一日付をもって、神社本庁から神職身分二級上(昔の兵隊の位でいえば中將)とする昇進の栄誉を受けられました。心からお喜び申し上げるとともに、明年、新社務所で祝賀会を開催しようとの声が高まっています。

東京都公認

# 六郷幼稚園

のびのび  
すくすく。  
未来を深呼吸。



緑の空気とやさしい光！ サッカークラブが今、大人気!!



ECCのミス・ローリー先生の英会話は週1回の特別指導。



三浦半島・津久井浜農園で、みんな仲良くイモ掘り大会。

六郷幼稚園は、昭和40年11月15日に開園しました。

本殿の背後にある1200坪の園庭は、戦前までは昼なお暗い森でしたが、今では「明日とかけっこ、夢とにらめっこ」する園児たちにふさわしい快適な環境となっています。

①丈夫な身体の子②挨拶のできる

子③思いやりのある子④考える子⑤がまんできる子——この教育目標に向かって、新しい時代を先取りした魅力的な指導をめざしているのが、大きな特色です。

現在、園児310名、先生16名、大田区内でも屈指の幼稚園として、好評を博しています。

● 11月9日(水)

## 江戸東京たてももの園 バス見学会

風ひとつない秋晴れに恵まれ、武蔵野の面影をしのびつつ、広い園内に点在する歴史的建造物をじっくり見学。帰途、サントリー武蔵野ビール工場にも立ち寄る。41名参加。



● 11月27日(日)

## 六郷川野鳥観察会

快晴。午前10時から岸辺に望遠鏡5台を据え、六郷水門付近の干潟に集まるアオサギ、ダイサギ、カワウ、オナガカモ、カルガモ、マガモ、ユリカモメ、ウミネコなどを観察。その美しい姿に感嘆の声がもれた。指導は、簡典久、坂本節子の両先生。36名参加。



● 10月2日(日)

## 六郷ばやし公演

第21回六郷文化センターまつりの閉会式に、崇敬会養成の中学・高校生（岡林恵、西川由華、西川真之輔、岡林忍、安藤高也、原口玲子）が、師匠の鈴木時直氏の笛の音にリードされて、六郷ばやしを披露。みごとなバチさばきに、会場から大きな拍手がわいた。



# 神社参拝の作法

喜多 絹子

新しい年のしあわせを祈る初詣をはじめ、崇敬会が毎月行っている「ついたち早朝まいり」、さらには孫のお宮参り、七五三のお祝いにと、最近では六郷神社にお参りする機会がふえております。

それにつけても神様の御心にながうには、長い伝統に裏付けられた参拝の作法にしたがうのが、いちばん良いのではないかと、思うようになりました。古来、神社参拝の際もつとも



大切とされるのは、心身を浄めることだといわれます。

神社の参道には必ず手水舎があります。ここで口をすすぎ、手を洗うことは、いわゆる「みそぎ」を簡略化したもので、「手水を取る」と申します。

その作法は、まず柄杓を右手で取って清らかな水をくみ、それを左手にかけて浄めます。つぎに、柄杓を左手に持ちかえ、同様にして右手を浄めます。それから、ふたたび柄杓を右手に持って、左のてのひらに水を受け、その水で口をすすぎます。

最後に柄杓を立て、残った水を柄杓の柄に流してから、しずかに台の上に柄杓を伏せて置きます。しばしば柄杓を水の中に入れて立ち去る人を見かけますが、注意したいものです。

それから参道を通って、拝殿に向かいます。参道の中央は、神様がお通りになるところですので、それを避けて歩くことが

礼儀でしょう。

神前では正面に立って拝礼します。お賽銭をあげ、鈴があるところでは鈴を鳴らしてから、二拝二拍手一拝をいたします。

これが神社にお参りするときの基本作法といわれるのですが、大切なのはあくまでも真心こめた祈りであり、形式にこだわらずに本義を忘れることのないように心掛けたいものです。

六郷神社の表参道と脇参道にある手水舎は、いずれも昭和六十二年の鎮座九百三十年祭記念に新築されたもので、表参道の手水石は、宮本町会の氏子総代山口四郎氏の寄進です。

ちなみに境内西側には古い手水石が二つ保存されています。その一つは、源頼朝公の奉献と伝えられる大きな手水石で、剛健質朴なたたずまいに鎌倉の昔がしのべれます。

その隣にあるのは、天和三年（一六八三）五月、高木伊勢守源守養が寄進したものです。

（崇敬会副会長）

## ◆新入会員紹介

南一・黒坂ヨシエ 南二・佐藤寿美江、額賀正七 仲一・徳永トシエ 仲二・田淵テル、佐藤喜美枝 仲三・笠井庸子 仲四・菅野民也 西二・吉行いく、石渡清司 羽田二・磯辺 武東矢口三・梅沢博喜

## ◆こども流鏝馬

恒例の流鏝馬祭は、1月7日午後1時より行われます。東京都指定の無形民俗文化財です。（雨天決行）

## ◆六年度の会費未納の方へ

お手数でも同封の新しい振替用紙で年会費をお納めください。

## ▼訃報

中谷 亀氏（崇敬会常任理事）六月四日死去。六十九歳。謹んで生前のご尽力に感謝し、ご冥福を祈ります。

発行：六郷神社崇敬会

〒144大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三・三三三・二八八九

振替 〇〇一九〇一六一二三五五三

編集：平野順治